

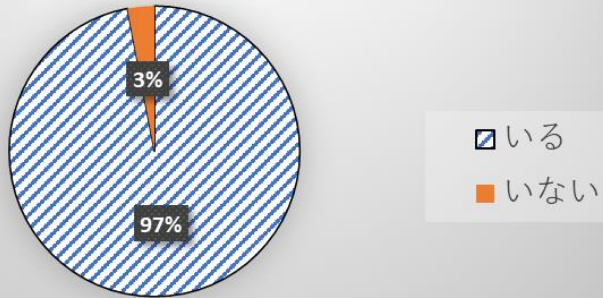


八王子わんにゃんぴープロジェクトアンケート結果

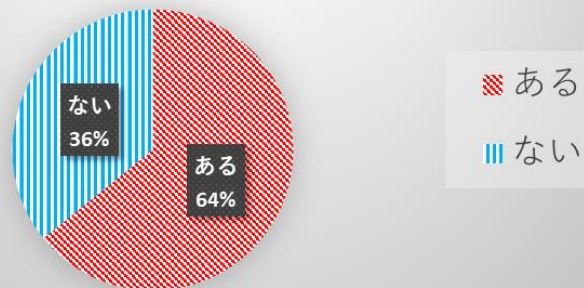


考えておきたいペットのことアンケートにご協力頂きましてありがとうございました。134 通ものご協力をいただきました。貴重なご意見をご報告させていただきます。

1 これまで担当した中にペットを飼っている人はいますか



2 飼っていることで、支援上困ったことがありますか



3 質問2であるを選択したのみ答えてください



- ヘルパーやケアマネにペットの世話（餌をあげる、買いに行く）を頼まれて困る・・・5
- 入院や在宅生活が難しくなったときの預け先がない・・・8
- 入院になりペットホテルに入ったが高くて困った・・・1
- ペットがいるからと外出、入院を拒否・・・8
- よく吠えて会話が聞き取れない・・・6
- 噛まれたり、ひっかかれて困る、ケガをした・・・9

- ・ 不衛生な環境で訪問せざるを得ない。アレルギーが出る・・・6
- ・ 訪問中ペットがまとわりついてはなれない・・・3
- ・ 必要なワクチン接種など健康管理ができていない・・・1
- ・ ペット用品で部屋が埋め尽くされペットや生活動線の確保ができない・・・1
- ・ 動物が嫌いなヘルパーがいた（自分も含めて）・・・2
- ・ 世話をする人がいなかった。不衛生になっている。・・・7
- ・ 猫の去勢について理解していない・・・2
- ・ ペットの扱いが雑（強く抱きしめる、無理に閉じ込める等　ほかご意見多数

・ その他ペットと高齢者のことで、日ごろ感じていることについてお書きください。

●多数意見上位内容

- 1位　利用者がペットを見られなくなった際のペット対応（高齢者の体調不良・入院入所時）
高齢者とペットへの将来的な対応への不安（今は問題ないが将来への不安等）
- 2位　高齢者の不適切なペット飼育の問題（吠える噛む・不衛生な環境・多頭飼い・不十分な世話等）
- 3位　高齢者のペット飼育へのサポート体制への意見要望、飼育に対しての意見等



●高齢者のペット飼育についての肯定的意見など

- ・ ペットがいることで癒されたり家族との会話が増え笑顔が見られます　5人
- ・ 本人、家族にとっては癒しかったり家族同然だったりするのでペットの存在は大きいと思います　6人
- ・ 小鳥を部屋の中で放し飼いにしていた利用者が急遽入院し、ほかの利用者が世話をしてくれた。7年目であるがわが子のように育てている。私たちの一言よりも生きる意欲につながっている
- ・ 高齢になり世話ができなくなり、これからもペットと暮らしていきたいと希望が多いため共に生活できるよう受け入れをしている。ペットと暮らすことで安定した精神状態で暮らしているように感じます

●実際に利用者がペットの面倒を見られない時どうしたか

- ・ 本人が亡くなった後引き取り手がおらず居宅で見ていた
- ・ ヘルパーさんやCMがボランティアで掃除や排せつ物処理をしている　3人
- ・ 自分のペットの文鳥は買ったペットショップで一日500円で預かってくれます
- ・ 近所の人ボランティアで世話をしてくれたが在宅復帰困難となった
- ・ NPOに引き取ってもらったが、元気なうちから具体的に考えておいたほうがいい。

●高齢者とペット、様々なご意見

- ・ 高齢者でもペットが飼えるシステム（社会資源）があればいい　4人
- ・ 包括や市のホームページに情報が集まりいつでも最新の情報が見れるといい
- ・ 費用面でも安心して急遽頼れるような預け先があるといい
- ・ ペットと一緒に入所できる施設が安価でできたらいいと思う。どこも入居金が高い　3人
- ・ 飼えなくなった時に家族が世話をするかお金をかけて業者に依頼するくらいの覚悟を持ってほしい。命を大切にしてほしい
- ・ ペットと高齢者の関係性は決して悪いものとは思いません。ただ来客時のペットの対応については何かしらの工夫は必要だと思います　2人　等々

皆さまに頂いた貴重なご意見を参考に、地域ネットワーク事業 市民向け活動部会ではペット支援情報提供や市民向けペットと高齢者講演会等企画してまいります。今後ともご協力どうぞお願いいたします。